

人と自然に寄り添うデンマークのデザイン



JAPAN DENMARK 150 YEARS 2017 日本・デンマーク 150周年 2017

日本とデンマークの友好の歴史を振り返り、両国関係をさらに発展させるため、さまざまな記念行事が開催されています。10月に東京・豊洲で行われる記念イベント「日本×デンマーク 外交関係樹立150周年記念 DENMARK フェス&ウォークソン」に先立って、デンマークをより身近に感じられるトピックスを連載で紹介いたします。第1回はデンマークのデザインについて、建築家の隈研吾さんにお話をお聞きしました。



デンマークのアンデルセン博物館(イメージ)

デンマークのもののづくりの特長は、人間の体にあわせること、自然との近さにあります。「使う」ことを大前提に、工学的な根拠に頼るのではなく、感覚的に思わず触りたくなるようにデザインされているのです。たとえば家具などは先端をとっても大切にしている、椅子のひじ掛けは先がスッと細くなっているものが多い。人間は指先が細くなるにつれて、そこに無意識に親しみを感じ、触ってみたい、使いたい、となるのだと思います。木材を使う場合でも、あえて木の荒々しさを「表現」するようなこととはせず、自然をいかに心地よい形でそこに「存在」させるかを模索します。このような「人間と自然をつなぐ」デンマークデザインの考え方は世界からも注目され、多くの国がモデルにしています。デンマークは、デザインの力で世界に存在感を示してきたと言ってもいいでしょう。

延長線上に社会の仕組みを構築しています。2020年に完成予定のアンデルセン博物館をデザインする際にも、そのことを強く感じました。このプロジェクトでは博物館側から、オーデンセの町の一部として、子どもたちが走り回って楽しめる場にしたというオーダーを受けています。デンマークのもののづくりと社会の関係は、今後の日本に必要な視点だと思います。つくったものを社会の中でどのように位置づけ、循環させていくのか、それはデンマークがすでに描いている「小さなプロダクト」で社会をまわすという考えが参考になるはずです。私がデザインした新国立競技場整備事業も、断面の小さい木材を組み合わせたものですが、もともと日本の木造建築はこのようにつくり方をしています。小さなものは改修の際に必要な部分にだけ手を加えればいわれて、これは1400年前に建てられた奈良の法隆寺が現存している

理由のひとつと言えそうです。20世紀を経て日本がいつの間にか忘れてしまったサステイナブルな思想を、今一度、デンマークから学びたいと思っています。



新国立競技場整備事業
*大規模建設・特設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体
注)パースは完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。競技場は完成後、約10年の姿を想定しております。

建築家 隈 研 吾
KENGO KUMA

くまけんこ 株式会社隈研吾建築都市設計事務所主宰、東京大学教授、2020年東京オリンピックのメイン会場となる新国立競技場、デンマークのアンデルセン博物館など、多くの建築物の設計、デザインを手がける。



「デンマークのもののづくりと社会の関係は、今後の日本に必要な視点。」

世界のお手本となる
デンマークのデザイン



リム・マハー Liam Maher
フィンランド、デンハムなどのブランドを経て、2017年よりECCOのグローバルクリエイティブディレクターに就任。

足の本質を学び生み出す、ECCOのデザイン
ECCOでは創業当初より、「靴は足に従うべきで、その逆ではない」というデザイン哲学をもっています。足に合わない靴を履くと、二日を不快に過ごす必要はありませんが、舌が提供している「足に従った靴」を履けば、より活動的、行動的な日々を過ごすことができます。これはECCOデザインの重要な要素である「物事の本質からの発見」が大きな鍵となっており、足が本来もつ自然な動きや靴との関連性を学び、進化を遂げながら、一貫して変わらない品質を保ち続ける、これが履く人を幸せにする、ECCOのもののづくりです。

世界で一番 幸せな国を感じる 北欧デンマークのフェスを楽しもう!
日本とデンマークの外交関係樹立150周年を記念して「世界で一番幸せな国」デンマークのライフスタイルを感じる2日間のフェスを開催します。コペンハーゲンの街並みが再現された豊洲で、幸せなひとときを過ごしてみませんか。 <http://jp.ecco.com/denmark150.html>
10.7 SAT - 8 SUN 参加無料

ECCO®

CLASSIC × COMFORT

往年の名作が現代によみがえる

モノが本来もつ姿から発想すること。北欧デンマーク生まれのECCOは素材のレザーから靴まで自社工場で一括生産し、最高の履き心地を実現するために 創造的な革新に挑戦しています。

「靴は足に従うべきでその逆ではない」というデザイン哲学は、優れたクラフトマンシップと上質なプレミアムレザーによって具現化されます。

秋の新作「ECCO SOFT 1」は1981年にECCOを一躍世界的カジュアルシューズブランドに押し上げた「ECCO SOFT」を、現代的なテクノロジーで再定義しました。足を包み込む柔らかくしなやかなレザーと、足の凹凸に沿ったコンフォートプラットフォーム™の組み合わせは、ECCO だからこそきた妥協のない靴づくりです。

時代を超えたミニマルで美しい1足は、北欧デンマークの伝統と革新をわたしたちに届けてくれます。

jp.ecco.com

お問い合わせ：ECCO・ジャパン 0120-974-010